

## いじめ防止に対する「ふるさと学習」の効果は

郷土愛を育み自己を確立する教育であり、まさにいじめを生まない人づくりそのもの



廣中 清介  
市民クラブ

### 「いじめ防止」への取り組みについて

**問** 中学1年生に対する特別な対策は。

**答** 入学時に宿泊オリエンテーション学習を実施。学校生活でも、子どもたちの小さな変化を見逃さないよう多くの職員が関わり、アンケート調査も実施している。

**問** 情報モラル教育や人権教育への取り組みは。

**答** 「道徳」の時間で指導し、情報モラルは専用ソフトで学習。人権教育はいじめを「重大な人権侵害」として位置付けている。

**問** 弁護士会による子どもの人権擁護活動として「いじめ予防出張授業」が全国的な広がりを見せているが、取り入れる考えは。

**答** いじめ防止に有効なら活用を検討したい。

**問** 「ふるさと学習」に期待する効果は。

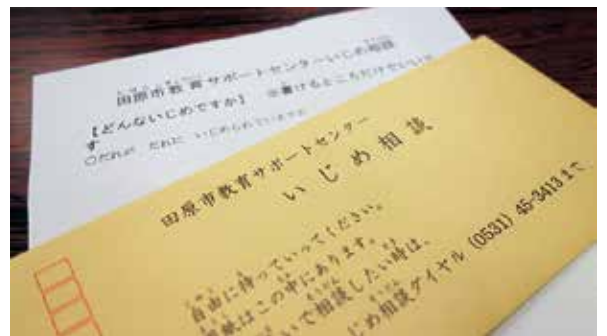
**答** 郷土愛を育み、自己を確立し、生き抜く力を付けるキャリア教育であり、まさにいじめを生まない人づくりである。

**問** 学校の統廃合は子どもたちの健全育成にプラスか

**答** 学校規模により長所短所があり一概に結論は出せない。健全育成は、統廃合の前提として何よりも大切にしている。

**問** 教育委員会は「いじめ」について本気の議論を始めているか。

**答** いじめの防止根絶は、教育委員会の最重要課題と認識している。校長会、いじめ対策会議等が、強い危機感を持って対応している。



**問** 平成30年開駅予定の豊橋市で初の道の駅が、本市の道の駅に与える影響は。

**答** 少なからず影響はあるが、差別化を図りながら、連携して相乗効果が発揮できるようにしていく。

**問** 「道の駅（仮称）とよはし」と、どのような差別化を考えているか。

**答** 本市の道の駅の立地の特性を生かし、特産品だけでなく周辺の観光資源と連携させ、体験等の要素を取り入れながら差別化をしていく。

